

東京すくわくプログラム活動報告書 ③ テーマ:砂・水・泥遊び

〈テーマの設定理由〉

乳児期から泥んこ遊びを楽しみ、泥や水の感触に親しんでいる。泥んこになって遊ぶことで、五感を使い、想像を膨らませてやり取りや遊びを広げていくことができる。

年間を通じて、全身泥んこになり思い切り遊びたいと考えテーマにした。

今回のテーマは雨の日の園庭

晴れた日とは違った感触や音、景色などを感じることが出来るのではないかと考えた。自然への興味や気付きを広げ、普段と違う環境の中で自然に親しみながら遊ぶ。

〈活動の内容〉

- ・雨の日ならではの園庭遊びを楽しんだ。
水たまりを見つけると「キラキラしてる」「形が出来てる」と目を輝かせ、そっとのぞき込んだり手で触る等などの姿が見られた。雨音や水の動きに気が付いたり、濡れた砂のおいを感じる等、自然に触れながらのびのびと遊ぶ。



社会福祉法人たつの子の会

羽村しらうめ保育園

2歳児クラス

2025年8月7日(木)

〈準備した素材や道具、場所〉

道具…タライ、バケツ、砂、

鍋やお椀など

環境…園庭遊び



なんか模様がある！

触ってみたい！
おもしろいね～！

○振り返り

- ・雨の日の園庭遊びでは、水たまりや雨音など普段と違う環境に興味を持つ姿が見られた。
水たまりや雨音、水面に移る模様などに目を輝かせ、園庭に出ていく姿があった。「近くで見たい」「入ってみたい」という気持ちから自分から遊びを見つける姿あった。
友だちや大人と「ここにも水たまりが出来てる」「中は温かい」「ポツポツって音がしてる」など五感を通して自らが感じながら主体的に遊びを楽しんでいた。
子どもたちがワクワクするような事象に目を向け、感じる経験や気が付いたことを言葉にすることを大切にしていきたい。